



平成30年11月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
此下 竜矢
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 代表取締役最高執行責任者兼
最高財務責任者 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成31年3月期第2四半期の個別業績値と前期実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期第2四半期個別業績と前期実績との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前期実績(A)	197百万円	▲115百万円	▲115百万円	▲1.53円
当期実績(B)	207百万円	▲54百万円	▲55百万円	▲0.73円
増減額(B-A)	10百万円	60百万円	59百万円	—
増減率(%)	5.23%	52.70%	51.93%	—

2. 前期実績との差異理由

平成31年3月期第2四半期の実績につきましては、売上高は10百万円増加し197百万円となりました。これは主に当社グループの各会社からの経営指導料収入の増加によるものであります。

経常利益につきましては、当期営業外費用に社債利息(12百万円)が発生したものの、上記増収の要因に加えて、昨年営業外費用に計上した貸付金やその他債権に対し設定した貸倒引当金(47百万円)が当期は発生していないことが前期実績と比較して増益要因となり、前期比60百万円の増益の▲54百万円となりました。

また、四半期純利益につきましては、前期と比較し59百万円増益となり、▲55百万円となりました。当期は特別損益に大きな取引は発生していないことから、当期純利益の増益額(前期対比)は、ほぼ経常利益の増益額(前期実績対比)と一致する結果となりました。

以上